開帳の想い出

三十三年に一度の本尊薬師如来のご開帳が五年後にせまってきました。

これからの五年間、朝日寺だよりでは、前回の開帳（昭和五十六年）をよく知る方に、開帳の思い出や次回の開帳への思いなどを語って頂く予定です。今回は開帳を機に御詠歌を始められた、金塚敦子さんに執筆頂きました。

開帳と御詠歌

庄田東　金塚敦子（御詠歌名誉詠真）

みなさま新年あけましておめでとうございます。大きな希望と期待を胸に抱き新年を迎えられた事とお慶び申し上げます。「一年の計は元旦にあり…」毎年気持ちを新たにするけれども、なかなか自分の思うようには行かないものです。

月日の経つのは早いもので、私は昭和五十六年に薬師如来の開帳に、御詠歌を奉納することになって、その前の年に御詠歌の道へ入門することになりました。その時に二十人程の人が集まって習い始めたのが揚柳（ようりゅう）と相互供養和讃（そうごくようわさん）です。揚柳の歌詞「天が下（あめがした）照らさぬ隈（くま）もなかりけり高野の奥の法りのともしび」揚柳の『揚』はカワヤナギ、『柳』はミダレヤナギのことで、和やかで優しさを表している歌詞です。始めにある「あめがしたあめがした」と一生懸命習っていたのですが、開帳当日はあいにくの雨でした。致し方なく寺の中で歌・踊りなどが賑やかに行なわれ、小さな巡礼姿の幼子の踊りがかわいく今でもそのしぐさが目の前に浮かぶようです。その人達が今ではお母さんになられて子供さんと一緒に今度の開帳に出られることでしょう。

その開帳の七年後、土砂加持法会が行なわれました。その時は向かいの運動場から寺院方を先頭に、お稚児さん、御詠歌などの行列が行なわれ、盛大でした。

前回の様子

次に一年の御詠歌の行事として、五月八日の花まつりでは御詠歌を唱えながら四国八十八ケ所のお砂ふみを本堂へと向かって行きます。七月海の日のよみあげでは朝日寺のご詠歌などを、八月十五日の水まつりでは、客殿内で施餓鬼精霊供養和讃を唱え、外では追弔和讃を唱えています。

そして次に私事で失礼しますが、私は昭和五十五年に御詠歌に入門以来、同行二人お大師様と共に御詠歌を一生懸命習ってきました。さっそく五十六年には開帳があり、五十九年には高野山千百五十年御縁忌大法会に参加しました。六十一年には御詠歌の高野山全国大会にも出させて頂きました。平成になってからは中国ブロック奉詠舞大会に七人組の団体で出て、二・三・四年と連続で優勝し、みんなで喜び合いました。七年には金剛講創立七十周年大会、また各種研修大会等に欠かさず出席し、自分なりの精進努力を重ねて来ました。これも御詠歌の皆様を始め、家族の協力もあってのことと喜んでおります。本当に早いもので私が御詠歌を習い始めて二十八年目になり、年を取るのも早いこと…今年で数え年九十歳になりました。よくここまで来られたと思います。その甲斐あって私のような無能無学の者に「名誉詠真」が高野山から頂けるという身に余る光栄に預かりました。

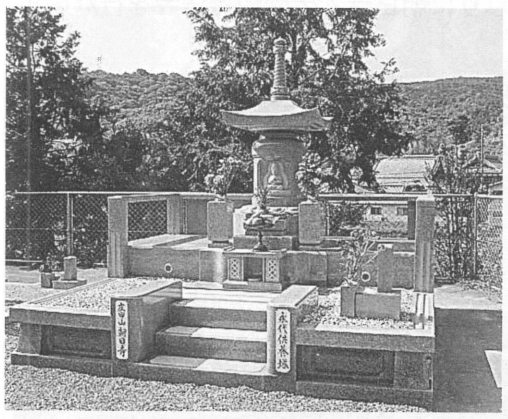
前回の様子

最初の頃は昼も夜も御詠歌に明け暮れる日々でした。「そんなに御詠歌がいいのなら、お寺の人にしてもらえぇ～。」と言ったおじいさんが一番喜んでくれました。大変嬉しかったです。来たる平成二十六年の開帳を元気で迎えられるように皆さんと一緒に精進したいと思っています。次回の開帳が大成功になりますよう、祈念いたしております。ありがとうございました。

合掌

御詠歌は随時募集しています。もちろん初心者歓迎（全員最初は初心者ですので…）ですし、見学も大歓迎ですので、御詠歌に興味のある方はぜひ一度遊びに来て下さい。定例月二回程度と各種行事前に練習しています。

永代供養塔好評受付中

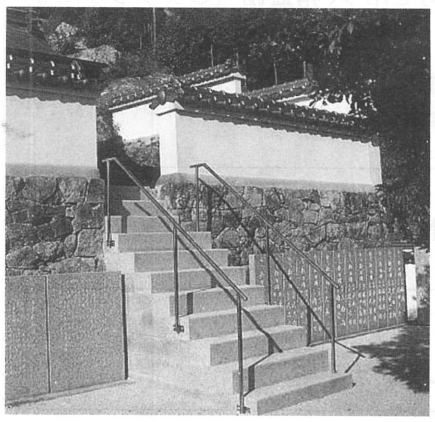


お墓を管理する人がいない方や様々な事情でお墓の管理が困難な方のために朝日寺が責任を持って清掃管理し、春秋彼岸およびお盆には供養します。

納骨料は朝日寺の壇信徒であるなしに関わらず、一霊二十五万円と墓碑書込み料三万円です。また、同時に複数霊納骨される場合や既にお骨がなくなっている場合等については個別に相談に応じます。永代供養をお考えの方はお気軽にご相談下さい。

また、「朝日寺やすらぎ霊園」は一期分譲分が残り十二区画となっております。こちらもお考えの方はご相談下さい。

鎮守堂石段改修



劣化が進んで危険な状態になっていた、鎮守堂の石段ですが8月に改修工事が完了いたしました。傾斜も今までより緩く、手すり付で、より安全快適にお参り頂ける様になりました。

なお、この石段改修・駐車場建設には皆様より頂いた寄付金を充てております。

平成20年分 寄付金の会計報告

薬師如来開帳へむけて、5ヵ年計画でお願いしていますご寄付でございますが、2年目となりました昨年末現在の会計は左記の通りとなっております。厚くお礼申し上げます。引き続きのご協力を伏してお願い致します。

平成19年の残高		4,042,124円
平成20年収入の部		
	寄付金	2,478,000円
	利　息	3,092円
平成20年支出の部		
	駐車場建設費	8,398,877円
	鎮守堂石段改修費	660,000円

など

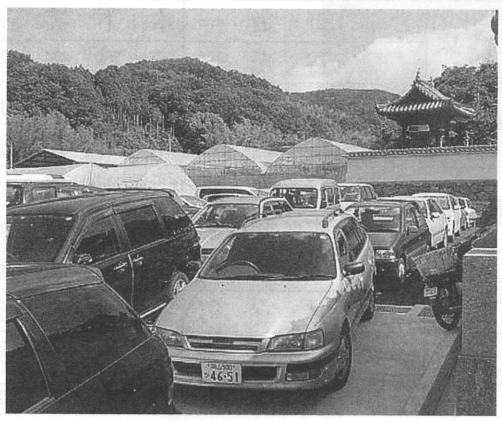
※なお、詳しい会計報告は一連の事業が終わってからご協力頂いた方々にお知らせ致します。

新駐車場完成

車社会が進展している現代にあって、朝日寺には狭い駐車場しかなく、駐車場の整備は長年の願いでありました。その待望の新駐車場が皆様のご協力により五月に無事完成いたしました。ありがとうございました。

場所は境内の西側、旧来の駐車場があったところの北側です。普段で20～30台、詰めて50～60台を駐車することができます。

普段の法事等はもちろん、各種行事の際には今までよりはるかにスムーズに駐車でき、周辺の混雑は緩和されました。朝日寺にお参りの際はどうぞご利用下さい。



宝物保存会に関するご報告

宝物保存会の残高が18年度末時点で706,803円ございましたが、先に総代長も述べられているように、19年12月27日には両界曼荼羅を修復（262,500円）、20年3月19日には弘法大師など5本の掛軸を修復（383,250円）し、3月25日に、宝物保存会口座を解約し、受取利息を含めた残高62,168円は護持費会計に移しました。**これをもって宝物保存会は完全に終了とします。**たくさんのご協力ありがとうございました。